

## 第5 日本語指導が必要な帰国生徒・外国人生徒入学者選抜

日本語指導が必要な生徒選抜に志願することのできる者は、「第1 全般的な事項」の「Ⅲ 応募資格」の1に該当する者のうち、原則として、中国等から帰国した者又は外国籍を有する者で、小学校第4学年以上の学年に初めて編入学した者その他特別の事情があり府教育委員会が本選抜に志願することが適当であると認めた者とする。

### I 出 願

- 1 出願は、1校1学科に限る。
- 2 出願期日及び出願時間は、次のとおりとする。

2月15日	月	午前9時～午後4時
2月16日	火	午前9時～午後2時

- 3 志願者は、下記の書類等を志願先高等学校長に提出する。(郵送は認めない。)

(1) 入学志願書(様式101)〔様式集2～3ページ〕

(2) 日本語指導が必要な生徒選抜への出願資格に係る申請書の写し及び承認書

日本語指導が必要な生徒選抜に志願する者は、府教育委員会の審査を経て当該選抜への出願資格に係る承認書の交付を受けたうえで、審査時に提出した申請書の写しと併せて、交付された承認書を出願時に志願先高等学校長に提出する。(申請時期及び申請方法については、別に定める。)

(3) 入学検定料

府立学校用の納付書(府立全日制用)により、その裏面に指定された金融機関窓口で入学検定料2,200円をあらかじめ納入し、領収印が押印された入学検定料納付証明書(入学志願書貼付用)を入学志願書の裏面の「1 大阪府立の高等学校に出願する場合」の貼付欄にはりつけて提出する。

(4) (英語資格(外部検定)を活用する志願者のみ)

スコア等を証明する証明書の写し(中学校長が原本と相違ないことを証明したもの)

(5) (過年度卒業者のみ)

本人及び保護者(両親のある場合は両親とも)の住民票の写し又はこれに代わる証明書

(6) (「第1 全般的な事項」の「Ⅲ 応募資格」の1(2)に該当する者)

入学志願特別事情申告書(様式121)〔様式集11ページ〕

(7) (「第1 全般的な事項」の「Ⅲ 応募資格」の1(3)に該当する者)

教育委員会の承認書及びその関係書類

### II 学力検査等

選抜のための学力検査等として、学力検査及び作文を行う。

- 1 学力検査等は、2月18日(木)午前8時50分から行う。

- 2 学力検査等は、志願者全員について各高等学校長が、当該高等学校において行う。

- 3 学力検査の問題は、数学及び英語について、中学校卒業までに習得される基礎的な学力を評価することを主眼として、府教育委員会が作成する。

なお、英語の学力検査にはリスニングテストを含む。

また、数学及び英語の学力検査については、「標準的問題」(「特別入学者選抜等における問題の種類及び特徴」〔74ページ〕参照)で実施する。

- 4 作文については、日本語以外の使用を認める。このとき使用する言語については、原則としてあらかじめ申請するものとする。(申請時期及び申請方法については、別に定める。)

5 各教科の学力検査においては、ルビをつけた学力検査問題を配付する。(ルビは小学校学習指導要領学年別漢字配当表で示されている漢字以外の漢字の読みとする。)

また、作文の題意の理解を支援するため、キーワードとなる語について、外国語を併記したものを配付する。

さらに、受験者が希望する英語以外の外国語の辞書の持込みを2冊まで可能とする。(例：日中辞典と中日辞典)

6 学力検査の時間は同一問題で実施する特別選抜における時間の約1.3倍とし、学力検査等の実施時間割及び配点は次のとおりとする。

時 限	第1時	第2時	第3時	
検査教科等	作 文	数 学	英 語	
時 間	40分	50分	50分	リスニングテスト 20分
時 刻	9 : 00	10 : 00	11 : 10	12 : 10
	9 : 40	10 : 50	12 : 00	12 : 30
配 点	—	45点	45点	

### Ⅲ 入学者の選抜

高等学校長は、次の要領により入学者の選抜を行う。

- 1 高等学校長は、選抜のための補助機関として選抜委員会を組織し、厳正で円滑な選抜事務の遂行を図る。
- 2 選抜の資料は、学力検査の成績及び作文の評価とする。
- 3 合格者の決定に当たっては、学力検査の成績及び作文の評価を組み合わせる総合判定する。
- 4 合格者の決定に当たって、「2」及び「3」に従うことが実際にはなはだしく困難な場合は、高等学校長は、府教育委員会の承認を受けてこれを変更することができる。
- 5 高等学校長は、2月1日(月)までに選抜実施計画を府教育委員会に報告する。

### Ⅳ 合格者の発表

合格者の発表は、3月1日(月)午後2時に各高等学校において行う。